

2月最終日は世界希少・難治性疾患の日 (RDD)

RDD JAPAN

主催 医療系産学連携ネットワーク協議会
(medU-net自主活動コミュニティ企画)

共催 関西医科大学、東京科学大学

RDD2025

RDD2025公認開催



RDD medU-netフォーラム 2025

メタバースが切り拓く、 患者間のコミュニケーション

～小児がん患者交流を、患者・家族・市民 × 産学官で一緒に考える～

2025年3月15日(Sat) 14:00-16:30

オンライン配信 (Zoom) 参加無料

世界希少・難治性疾患の日(Rare Disease Day; RDD) に合わせて、RDD medU-netフォーラムを開催します。患者・家族の皆さまの声・ニーズにも耳を傾け協働しながら、希少・難治性疾患等の研究から、創薬・医療機器等の社会実装に結び付けていく産学官連携活動を加速させていくことを目指していきます。第3回目の開催となる今年、「メタバースが切り拓く、患者間のコミュニケーション」をテーマに、medU-netの産・学・官のメンバーに加え、患者・家族・市民など、参加者全員で、小児がん患者交流へのメタバースの活用企画のアイデアのプレストを行います！

14:00 はじめに

14:10 小児がん患者同士、家族をつなぐメタバース空間の試み

講演 1 大町 太一 (関西医科大学 小児科学講座 講師)



14:30 看護教育×メタバースの挑戦

講演 2 大橋 敦 (関西医科大学 看護学部こども看護学領域 教授)



14:50 小児がんサバイバー、闘病仲間との交流

講演 3 長井 優太 (大阪府立工芸高等学校、小児がんサバイバー)



15:10 メタバースの活用事例

講演 4 齋藤 雄介、八木沢 侑 (株式会社ファンタスティックモーション)



15:35 意見交換・企画アイデアプレスト

～16:25 全員参加型 講演者 × medU-net有志 × 参加者

(敬称略)

申込
フォーム

【3/13締切】[申し込みフォームリンク \(Googleフォーム\)](#)

※アクセス制限がある場合は、下記事務局宛にご連絡ください。
※medU-net個人会員(無料)の[会員登録](#)も併せてご検討ください。



お問合せ

medU-net事務局 (担当: 磯部・八十) E-mail: medu-net.tlo@tmd.ac.jp

仮想空間(メタバース)での患者・家族交流で コミュニケーションが生まれる企画案を一緒に考えませんか？



はなれていても
いつでも会える

小児がん患者さん同士やご家族が交流できる 仮想3D空間=メタバースの誕生を！

Emo-Link (構想中)

小児がん患者、患者家族、小児がんに関わる医療従事者のみがログインできる招待制アプリ。仮想空間(メタバース)での交流を行い、アバターとニックネームを使用することで個人情報保護。自由な交流をベースとする一方で「トーキングスペース」「チャット」「リアクション」機能で交流を促進。非日常的な空間、非現実的なゲームやイベント、ログインボーナスの設定なども可能。完全招待制を取り、NGワード設定で誹謗中傷を排除し、通告制度で問題発生時のログインを制限。安心して交流できる環境を目指す。将来的には同時通訳も可能にして、世界中の小児がん患者同士の交流、他の希少疾患への展開も見込む。



つながる、どこまでも
Emo-Link

クラウド
ファンディング
にも挑戦中



<https://readyfor.jp/projects/Emo-Link>

RDD medU-netフォーラム 2025 (3月15日開催) では、子どもたちの交流をより促進するためのメタバース空間内での企画を、参加者で一緒に考えていきます(チャットなどを活用予定)。他の疾患への展開も考えながら、Emo-Linkをより良いものにしていきます！聞いているだけでも楽しめますので、ぜひお気軽にご参加ください。